

シンポジウム「見つめなおそう食文化 ー 栄養・もてなし・四季の移ろいー」

● 日 時：2009年9月12日（土）13：30～16：30（受付は13：00から）

● 会 場：関西学院大学 上ヶ原キャンパス G号館101号教室

● 定 員：250名（先着順、定員になり次第締め切ります）

● 参加費：無料

参加者の住所・氏名・連絡先を記入のうえ、① e-mail ② FAX のいずれかで、お申込みください（裏面のFAX申込用紙をご利用ください）。

① e-mailでお申込みの場合は、「総研9/12シンポジウム参加申し込み」と明記し、soken@kwansei.ac.jp へ送信してください。

[パネリスト]

谷本陽蔵 氏 ((株)つぼ市製茶本舗会長)

程 一彦 氏 (台湾料理リユータンオーナーシェフ・料理研究家)

松本 孝 氏 (「英國屋」チェーン・三和実業社長)

山口富蔵 氏 (京菓子司末富社長)

冷泉為人 氏 (冷泉家時雨亭文庫理事長)

● コーディネーター：寺本 益英 (関西学院大学経済学部教授・総合教育研究室副室長)

[シンポジウム概要]

栄養バランスの崩れ、孤食、安全性への不安、伝統的食文化の衰退など、一見豊かに思われる「日本の食」の中にも、様々な問題が潜んでいます。また食は人間にとって最も基本的な営みであり、コミュニケーションの手段であり、親密な人間関係を築くのに重要な役割を担っています。我々は空腹を満たすためにのみ食事をとるのではなく、食にはもっと奥深い意義があるのです。

一方、今日まで1200年の歴史を持つお茶は、日本を代表する文化を形成してきました。加えて家族団欒の象徴として、生活の中に深く根ざしてきました。しかし最近食生活の洋風化が進行し、簡便化志向が高まり、家族が集う機会が少なくなる中で、リーフ緑茶の消費減退が顕著になり日本のお茶文化は、岐路に立たされています。

今回のパネルディスカッションでは、関西学院大学で700名を超える履修者を有する食の講座を担当する関学出身の講師陣が、日本の食文化・喫茶文化の現状を様々な角度から分析し、改善の方向をさぐります。参加者のみなさん方と一緒に、日々の生活を振り返るとともに、人生を豊かにするための食と喫茶のあり方を、関西学院大学教育研究室から提案します。多数のご参加をお待ちしております。

お問い合わせ先

〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町 1-155

関西学院大学 総合教育研究室

開室時間：(月)～(金) 8:50～16:50 (土) 8:50～12:20

e-mail: soken@kwansei.ac.jp

Tel 0798-54-6128 Fax 0798-54-6463

総合教育研究室HP http://www.kwansei.ac.jp/c_soken/index.jsp

「見つめなおそう食文化 ー栄養・もてなし・四季の移ろいー」

- 日 時：2009年9月12日（土） 13：30～16：30 （受付は13：00から）
- 主 催：関西学院大学総合教育研究室
- 会 場：関西学院大学 上ヶ原キャンパス G号館101号教室
- 定 員：250名（先着順、定員になり次第締め切ります）
- 参加費：無 料

FAX申込用紙

お名前(ふりがな)	
ご住所	〒
電 話 番 号	
FAX番号	
e-mail	

※本シンポジウムに際し収集した個人情報、今回の関西学院大学総合教育研究室シンポジウムのために利用する他、今後の講演会・シンポジウム等の企画のご案内を差し上げるために利用し、それ以外の目的で利用・提供することはありません。

上記必要事項をご記入のうえ、
右記の番号までお送りください

FAX:0798-54-6463

※FAX、e-mailで申し込まれた方への受付確認のご連絡は差し上げません。
予めご了承ください。